

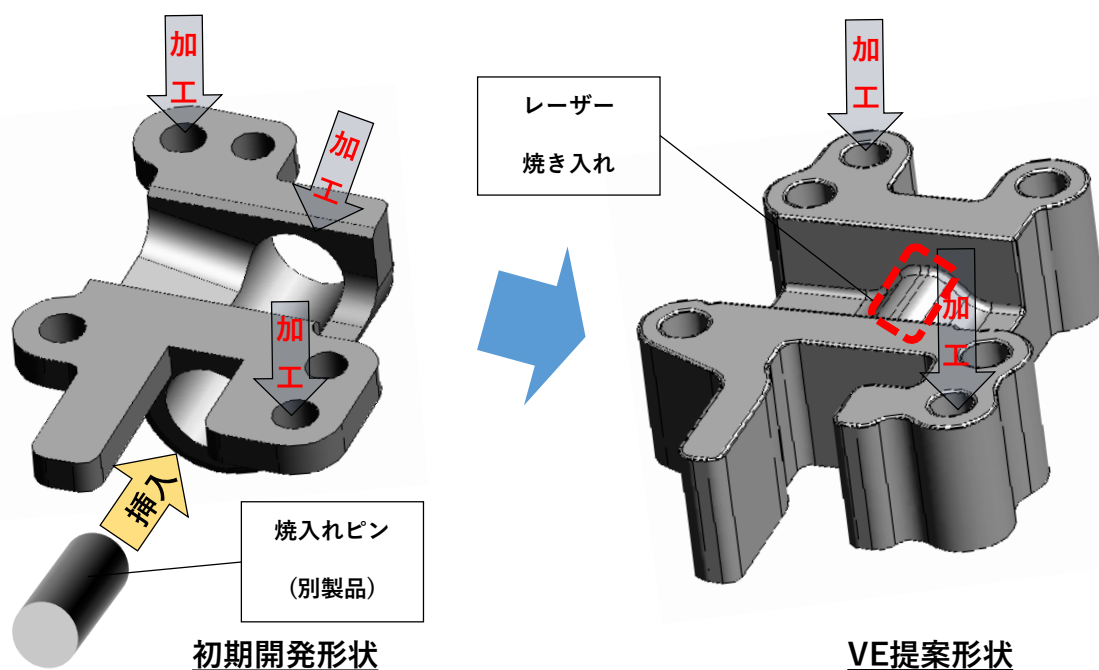
レーザー焼き入れを適用した プレートアクチュエーター

用途 自動車・パーキング



内容

- ・ ロッドピン乗り上げ部である鋼材（熱処理品）とベースとなる部材を一体化する事で、部品点数・加工部位・組付工数を削減
- ・ 必要な機能部位を残し、金型成形しやすい形状を提案する事で加工部位減



経緯

- ・ パーキング部品は周囲のレイアウトの制約もあり複雑形状となる
- ・ 高精度品の為多くの機械加工が必要であった

VA 効果

- ・ 約20%削減（加工部位半減、部品点数減）

その他

- ・ 乗り上げ部にレーザー焼入法を用いる事で、全体焼入れ対比CO2排出量を約95%低減